

ケーススタディ地区の取組概要

地区名 神石高原町

局署名 近中局／広島署・広島北部署

地域課題 小規模分散型の森林の集約団地化を通じた効率的な木材生産や森林整備、再造林の低コスト化、木材の安定的な供給

令和2年度実績

- 取組内容
- ① 森林共同施業団地の取組
 - ・ 団地設定を検討してきた候補3地区の図上検討と意見集約(新免地区を候補地として継続検討)
 - ・ 新たな候補地(阿下地区)の情報共有
 - ・ 今後の取組方針について意見交換
 - ② 知識や技術の普及
 - ・ 一貫作業コンテナ苗植栽後、3回下刈りを省略した現地で、生育状況確認とコスト比較を行い、施業方法の導入普及等について現地検討会を実施

現地検討会	1回(民国連携(国4名、民12名))
勉強会	-
会議	1回(書面開催のため人数不明)
打合せ	2回(延べ国7名、民19名)

今後の予定

- ① 新たな森林共同施業団地の設定
 - ・ 新免地区は、関係者間で必要な情報共有を図りながら、継続的な団地設定の検討
 - ・ 阿下地区は、路網連結の現地検討を行う等、団地設定の合意形成に向けて検討
- ② 知識や技術の普及
 - ・ 低コスト造林技術、ITスマート林業先進技術、早生樹、民国システム販売等の民有林への普及



下刈り省略の現地検討会(R2.7)



第2回打合せ(部会)(R2.12)

＜ケーススタディ地区の取組概要＞

小規模分散型の森林の集約団地化による効率的な木材生産や森林整備、再造林の低コスト化

＜地区名＞

広島県 神石高原町地区

＜局・署名＞

近畿中国森林管理局・広島北部森林管理署、
広島森林管理署

＜目的と背景＞

当地域の民有林の特徴として、①人工林の所有形態が小規模零細であること、②過疎・高齢化による担い手不足、③木材価格の低迷など林業の採算性の悪化による森林所有者の林業意欲の低下により、手入れ不足の森林が増加しています。

そのため、小規模分散型の森林を集約・団地化して、路網整備と高性能林業機械を組み合わせた作業システムの導入により、効率的な木材生産、森林整備の推進を図る必要があります。

さらには、皆伐後の再造林について、木材収入に対する造林コストの掛かり増しなどの理由から未実施の箇所が多く、持続可能な森林経営の実現には、再造林にかかるコスト低減を図ることが喫緊の課題と言えます。



＜連携体制＞

ケーススタディ地区支援チーム

広島県、広島北部森林管理署、広島森林管理署、
神石高原町、神石郡森林組合

＜令和2年度の取組概要＞

【関係者との打ち合わせ（3回開催）】

- ケーススタディ地区に係る情報共有

実施年月日：令和2年7月2日

場 所：三和協働支援センター

出席者：広島県、神石高原町、神石郡森林組合 外

実施年月日：令和2年12月2日

場 所：三和協働支援センター

出席者：広島県、神石高原町、神石郡森林組合 外

実施年月日：令和3年2月5日～3月9日

ケーススタディー会議（書面開催）

【低コスト林業（下刈り省略）現地検討会】

- 一貫作業コンテナ苗植栽後、3回下刈りを省略した現地で、生育状況確認とコスト比較を行い、施業方法の導入普及等について現地検討会を実施。

実施年月日：令和2年7月2日

場 所：通ヶ谷山（とおりがたにやま）国有林（神石高原町）

出席者：広島県、神石高原町、神石郡森林組合

【森林共同施業団地に関する現地検討会】

- 未実施 12月2日の部会において図上検討にて意見集約。

取組実績と今後の予定

広島県等と連携したケーススタディ地区支援チームにより、森林技術等の普及のために、現地検討会を開催して、情報共有や指導・助言等様々な支援を行っています。

ケーススタディ地区の取組

● 再生林の低コスト施業技術として「下刈省略」に関する現地検討会を開催しました。

広島県では、森林所有者の再生林に対する投資意欲を高めるため、森林資源経営のサイクルの構築（植栽→保育→間伐→主伐までの一連の循環）に向け、低コスト施業技術の導入・普及を図っています。そこで、造林コスト縮減の取組の一つとして、下刈省略について現地検討会を行いました。

現地は伐採から植栽までの一貫作業地で、コンテナ苗植栽後3回下刈りを省略している国有林で、プロットを設定して毎年、植栽木と周りの木本類、草本類の成長を調査してきました。当日は、成長状況の確認と、民有林への普及等について意見交換をしました。

参加者からは、「良好な生育を確認できたが、導入するには他にもデータが必要。」、

「現場作業は掛かり増しで大変、進めて行く施業方法か疑問」などの意見がありました。

今回の現地検討会を踏まえ、下刈り回数の削減など、引き続き関係者と連携を図り、低コスト造林普及に努めていきます。



● 会議を3回（うち1回は書面開催）行いました。

令和2年12月2日、広島県、神石高原町、神石郡森林組合、広島・広島北部森林管理署の関係者10名が出席し、三和協働支援センターの会議室（神石高原町）において部会を開催しました。

主な議題は、

- 新たな森林共同施業団地候補地の提案・情報共有
- これまでの候補地3地区について、今後5年間程度の事業予定共有と、図上検討により合意形成までやりきり、ひと区切りつけること。
- 意見交換（今後の活動方針、課題解決）

主な意見としては、「連携にメリットがある者が主導的に動かないと団地化を動かすのは難しい。」、「路網作設に際して、縦割りの施工システムの解消」、「町林務担当者からの勉強会要望」などがありました。広島北部署は、今後同地区の取組を積極的に進めていきます。



<今後の取り組み>

- 新たな森林共同施業団地の設定
- 低コスト造林技術、ITスマート林業先進技術、早生樹、民国システム販売等の民有林への普及 外